

平成25年10月29日
東京電力株式会社
福島復興本社

福島復興本社における 賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況

原子力損害賠償の進捗状況	．．．．．	P1～3
除染推進活動状況	．．．．．	P4～5
復興推進活動状況	．．．．．	P6～7
H26年度に向けた採用活動について	．．	P7

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

平成25年10月25日現在

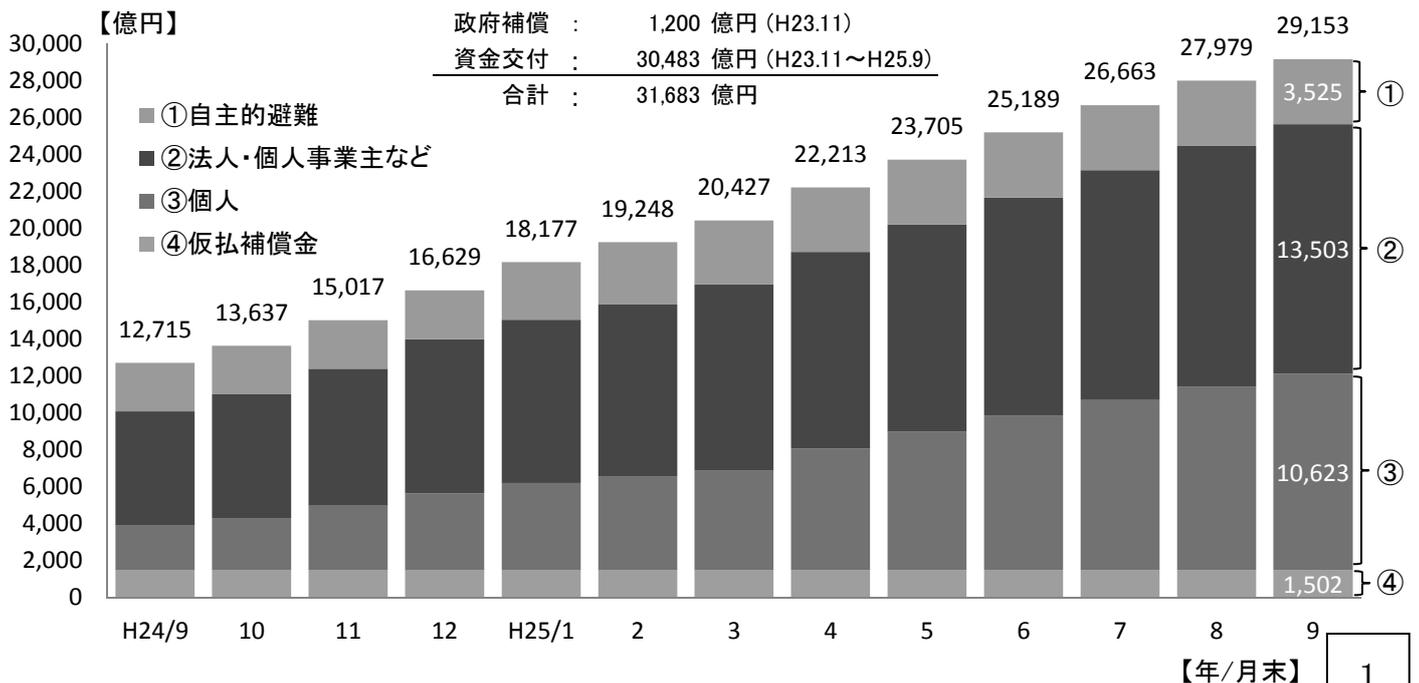
	個人	個人(自主的避難 等に係る損害)	法人・個人 事業主など
ご請求について			
ご請求書受付件数(延べ件数)	約499,000件	約1,297,000件	約214,000件
合意状況について ※1			
合意いただけただけの件数(延べ件数)	約456,000件		約187,000件
合意いただけただけの金額	約1兆2,146億円		約1兆4,434億円
本賠償の状況について			
本賠償の件数(延べ件数)	約432,000件	約1,284,000件	約184,000件
本賠償の金額 ※2	約1兆1,224億円	約3,525億円	約1兆3,951億円
これまでのお支払い金額について			
本賠償の金額 ※2	約2兆8,700億円 ①		
仮払補償金	約1,502億円 ②		
お支払い総額	約3兆202億円 ①+②		

※1 自主的避難等に係る損害については、合意書は発送していません。

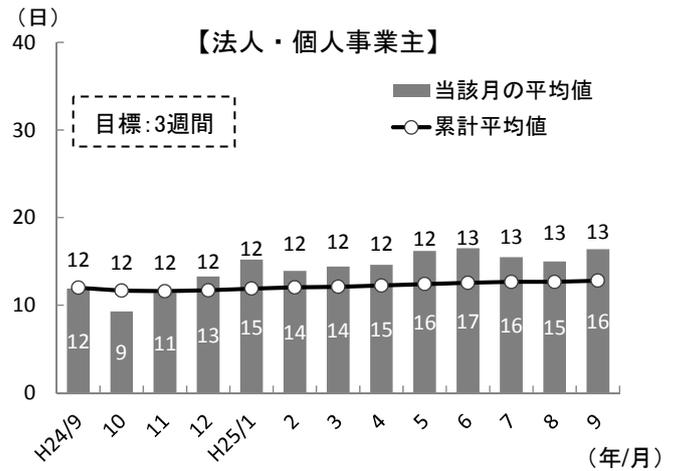
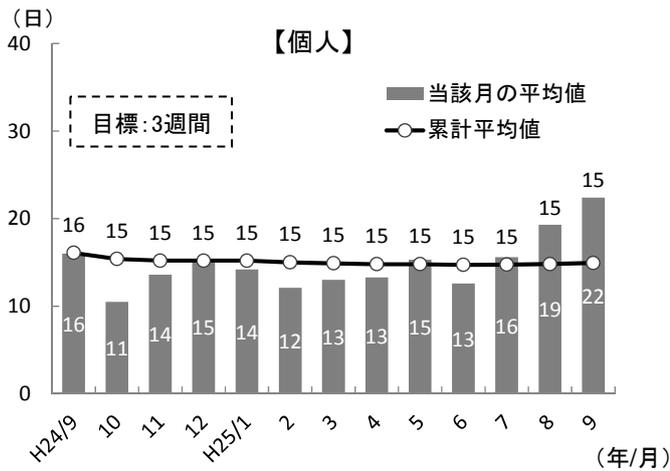
※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでいません。

＜賠償金のお支払い状況※＞

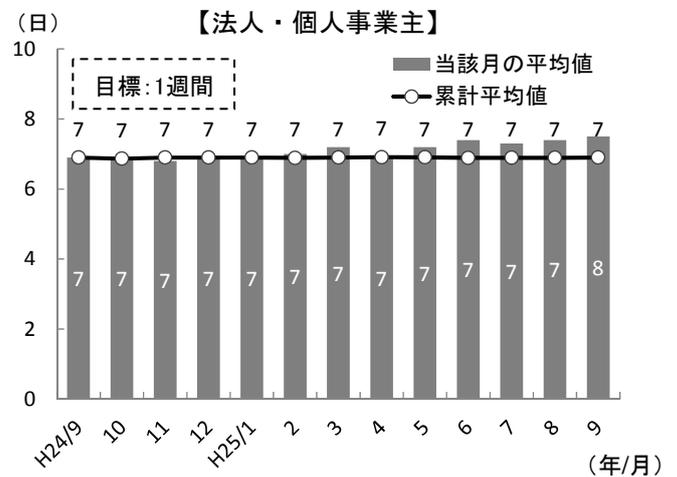
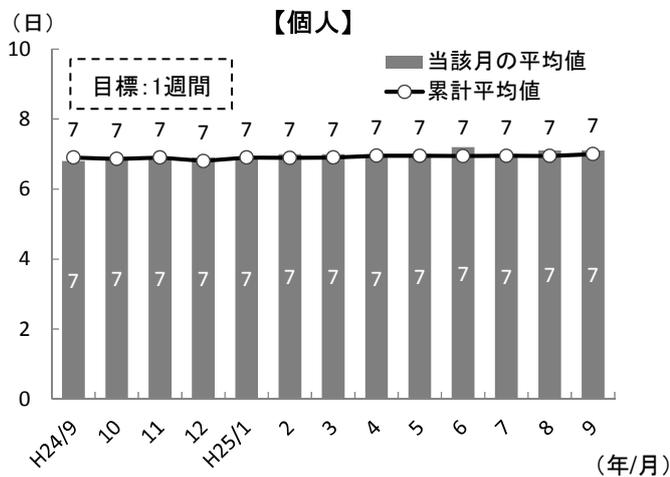
※本賠償のお支払開始：H23年10月



<請求書類確認所要日数(除く自主的避難)>



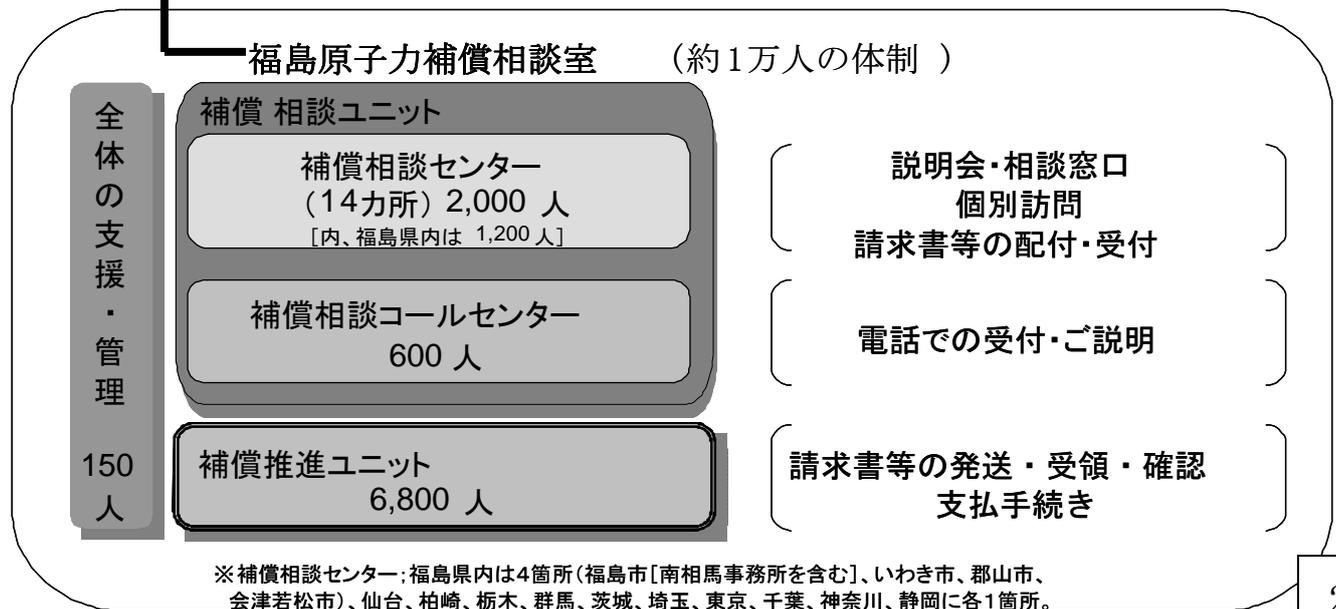
<支払手続所要日数(除く自主的避難)>



<原子力損害賠償の体制>

福島復興本社

平成 25 年 10 月 1 日現在



<本賠償未請求対応状況>

仮払補償金を受けられた方	約165,500名
仮払補償金を受けられて本賠償が未請求の方(7/24現在)	約9,400名
↓	
ダイレクトメール(DM)をお送りした方	約9,000名
↓	
請求書類をお送りした方(10/15現在)	約6,200名 (約5,800名) ^{※1}
↓	
新たに本賠償のご請求を頂いた方(10/15現在)	約1,900名 ^{※2} (約1,100名) ^{※1}

※1 ()内の人数は9/15時点(前回9/26会見時にお知らせ)

※2 仮払補償金を受けられて本賠償未請求の方は、10/15現在で約7,500名

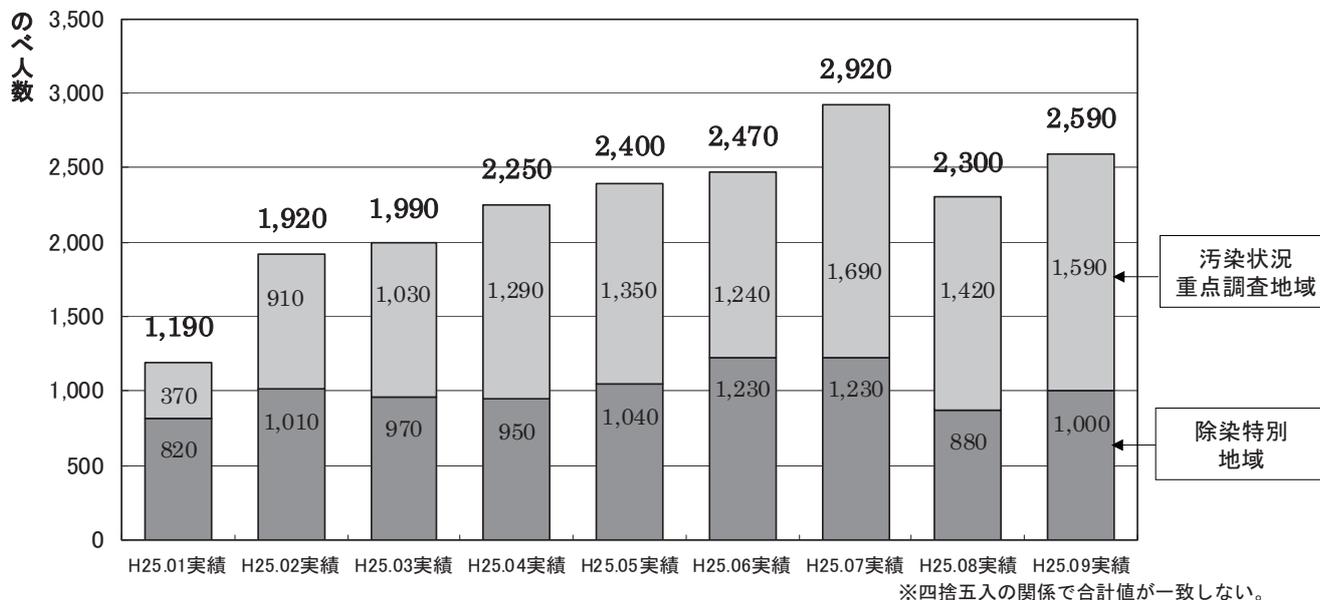
(当社の取り組み)

仮払補償金を受けておられながら本賠償を全く請求されていない方々のうち、約9,000名を対象に、平成25年7月31日以降、ご請求可能な賠償項目をご案内するダイレクトメール(DM)を発送。

⇒DM発送以降、電話や戸別訪問をとおして連絡がとれた方々に対し、被害の状況を個別にお伺いしたうえで請求書類を送付。

除染推進活動状況（除染への取り組み）

- 除染特別地域（旧警戒区域＋計画的避難区域の11市町村）での取り組み
環境省から委嘱を受け、国が除染を行う業務に対し、放射線管理、モニタリング、除染等に関する技術面での対応。【活動人数累計 約9,130人】
- 汚染状況重点調査地域（福島県内40市町村）での取り組み
環境省から委嘱を受け、市町村が中心となり行う業務に対し、モニタリング、除染等に技術面での対応。【活動人数累計 約10,900人】
- 1月の除染推進室発足以来、除染業務対応人員の累計は約20,030人（9月末現在）



除染推進活動状況（除染への取り組み）

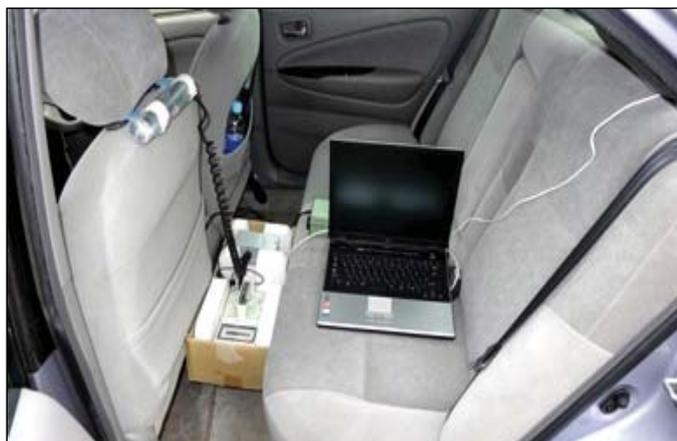
〈川俣町 走行モニタリング〉

【実施時期】平成25年9月20日～10月22日（うち19日間作業）

【実施人数】社員 延べ55人

【実施内容】

- ・川俣町では、近畿大学が開発したサーベイモニタリングシステムを活用して、自動車走行モニタリングを実施しており、第一～四巡目まで終了。
- ・第五巡目以降の走行モニタリングについて川俣町から要請があり、当社が第五巡目の走行モニタリングを実施。



測定装置



狭隘箇所を走行

除染推進活動状況（除染への取り組み）

〈常磐自動車道除染工事への対応〉

【実施時期】平成24年11月16日～平成25年10月31日

【実施人数】社員 延べ約1,360人（予定）

【実施場所】常磐自動車道（富岡町～南相馬市間）約21km

【実施内容】

- ・ 工事監督員として、平成24年11月より工事監理業務に対応。
- ・ 工事の設計資料等の作成の他、工事監理時の品質面や安全面に対応。
- ・ 除染作業は無災害で6月末に終了。10月末には仮置場整備、除染後モニタリングを含めて工事完了予定。
- ・ NEXCO東日本様によれば、広野IC～南相馬ICの復旧・整備工事が再開され、平成25年度内には広野IC～常磐富岡IC間の開通見通しの状況。
- ・ 今回の工事監督経験を踏まえ、今後環境省が進める除染活動の加速化に力を注いでいく。



橋梁部ブラスト



法面コンクリート部高圧水洗浄

復興推進活動実績（平成25年9月末現在）

■ 現在までの主な取り組み

- 9月は、町道の草刈り[浪江町]（延べ787人、25日間）、墓地の清掃[双葉町、富岡町]（延べ201人、13日間）、住宅等への進入路除草[双葉町]（延べ63人、7日間）、田畑に設置した電気柵の点検[田村市]（延べ79人、17日間）等を実施。
- 年末年始からの活動実績数は、延べ約33,700人となった。

<9月の活動実績>

活動内容	延べ人数
町道の草刈り（浪江町）	787人
墓地の清掃（双葉町、富岡町）	201人
住宅等への進入路除草（双葉町）	63人
田畑に設置した電気柵の点検（田村市）	79人
主な活動	1,130人
従来からの活動等<屋内清掃やがれき撤去等>	3,629人
9月の活動実績合計	4,759人
年末年始以降の累計	33,664人

復興推進活動状況

<田畑に設置した電気柵の点検>

【実施時期】平成25年9月4日～10月25日

【実施場所】田村市 都路町

【実施内容】

イノシシなどの野生動物侵入による被害の防止のために、田畑に設置した電気柵の状況確認や電圧測定を実施。

○実施箇所数：約200箇所

[33日間延べ約120人が実施]



電気柵の電圧測定 [H25. 9. 17撮影]

復興推進活動状況

〈住宅等への進入路除草〉

【実施時期】平成25年 9月24日～

【実施場所】双葉町

【実施内容】

公道から住宅への進入路および駐車スペースで支障になっている雑草の除草を実施。

○実施箇所数：約60箇所

[19日間延べ約180人が実施。10月25日現在]



進入路の除草[H25. 10. 22撮影]



除草前の未舗装進入路 [H25. 9. 17撮影]



除草後の未舗装進入路 [H25. 9. 24撮影]

平成26年度に向けた採用活動の状況について

- 当社は福島原子力事故の責任を全うするとともに、電力の安定供給を維持するため、事業運営に必要最低限の人員を確保すべく、平成26年度に向けた採用活動を行っています。
- その中で、福島の復興に向けて、雇用についても最大限貢献したいと考えており、福島県出身者および福島県内の学校の卒業予定者から、事故前と同水準となる **50名程度の採用** を目指しておりましたが、平成25年10月29日現在で、**43名の内定が決定** いたしました。

数字は全て平成25年10月29日現在

区分		福島県出身者および福島県内の学校の卒業予定者 (括弧内は女性の数)
大学	事務	2名(1名)
	技術	11名(3名)
	計	13名(4名)
高専 専門学校 短大	事務	0名
	技術	7名(0名)
	計	7名(0名)
高校	事務	0名
	技術	23名(0名)
	計	23名(0名)
合計		43名(4名)

最終的な採用人数につきましては、原子力損害賠償や発電所への対応状況、至近までの退職者を含めた人員数の推移等を踏まえ、業務実態や欠員状況を見極めながら、引き続き検討してまいります。